

V 4

男子・興南 女子・那覇西

ハンドボール

(浦添市民体育館)

【男子】
▽3位決定戦

那覇国際	35	延16	11
	3	1	1
	4	7	3
	3	1	3
		長	17
		10	
		34	
		具志川南	

▽決勝

興南	42	23	19
		11	12
		23	浦添
		13	普天間
		8	14
		7	7
		11	15
		26	ザ
		26	

▽3位決定戦

那覇西	31	13	18
		7	7
		14	浦添

守って速攻機能

那覇西、さらに進化へ

○女子の那覇西は新子



女子決勝 那覇西一浦添 後半、左サイドから得点を決める上間莉奈 (那覇西)

ム発足後から重点を置いていたディフェンスが機能し、シュートを簡単には打たせなかった。シューターを挟み込む横の動きに加え、長身の由浅

日香里のブロックも効いた。ボールを奪い返すとすぐに球を出し、理想の守りと速攻で点差を広げた。下地保監督は「守りは良くなってきている。次はプレーの精度をどれだけ高めしていくかが課題」と話す。主将の三輪はるかには、組み立てが選手の主体性に任せられている攻撃面について「速いパス回しはできていたが、シュートを狙うことができていなかった。修正して12月の大会では今とは違う那覇西を見せたい」とチームの進化を誓った。

攻撃型。プレーさく裂 興南

興南が超攻撃型のプレースタイルで大勝した。不動のエース・東江雄斗の存在感はそのままだ、東江以外のメンバーが積極的

ハイライト

に縦を突いて、シュートを決めた。センターの仲田圭吾は「雄斗にマークが集まる分、広く空いているところを突けた」と仲間を生かす

はまり、松原優人、具志堅陽向らが次々とシュートを打ち込んで得点力が落ちるどころか差を広げてみせた。次の照準は来春の選抜へとつながる12月の九州大会予選。主将の東江は「試合中にどんどん盛り上げていくような雰囲気づくりとかがまだできていない。いい気にならないうちに」。成長途上を強調して気持ちを引き締めた。(新垣和也)

男子決勝 興南一那覇西 厳しい角度からシュートを決める下地賢志 (興南)



11日、浦添市民体育館